

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校名 古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院
設置者名	学校法人 菊武学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名 ・ コース名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の 単位数又は授 業時数	省令で定める 基準単位数又 は授業時数	配 置 困 難
商業実務 専門課程	フラワービジネス *フラワーデザインコース	—	240 時間	160 時間 80×2 年	
	フラワービジネス *ガーデンデザインコース	—	180 時間	160 時間 80×2 年	
	フラワービジネス *フラワーウェディングコース	—	240 時間	160 時間 80×2 年	
	ブライダルビジネス *ウェディングプランナーコース	—	240 時間	160 時間 80×2 年	
	ブライダルビジネス *ドレス・ヘアメイクコース ドレスコーディネーター専攻	—	180 時間	160 時間 80×2 年	
	ブライダルビジネス *ドレス・ヘアメイクコース ブライダルヘアメイク専攻	—	240 時間	160 時間 80×2 年	
	コンピュータビジネス	—	学生募集停止 *在籍者なし	—	
	フラワーマスター	—	120 時間	80 時間 80×1 年	
	ブライダルマスター	—	120 時間	80 時間 80×1 年	
文化・教養 専門課程	初級公務員	—	学生募集停止 *在籍者なし	—	
	トータルビューティ *エステティック専攻	—	180 時間	160 時間 80×2 年	
	トータルビューティ *ビューティアドバイザー専攻	—	180 時間	160 時間 80×2 年	
	トータルビューティ *トータルビューティ専攻	—	180 時間	160 時間 80×2 年	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.nwfb.ac.jp/disclosure/>

「大学等における修学支援に関する法律第7条1項に係る情報公開」の項目にて公表

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 ※特になし

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院
設置者名	学校法人 菊武学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本学園ホームページ (http://www.kikutake.jp/05data/index.html) 上の事業報告書（役員に関する事項）の中で、理事（役員）の氏名を公表している。
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	井元産業株式会社代表取締役 井元総業株式会社代表取締役	2018.4.1 ~ 2022.3.31	—
非常勤	名古屋音楽学校名誉学校長 東洋ホールディングス株式会社代表取締役社長	2018.4.1 ~ 2022.3.31	—
非常勤	岡谷鋼機株式会社代表取締役社長 岡谷不動産株式会社代表取締役社長	2018.4.1 ~ 2022.3.31	—
非常勤	元 太平洋フェリー株式会社代表取締役社長	2018.4.1 ~ 2022.3.31	—
(備考) 特に担当する職務内容や期待する役割は定めていない。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院
設置者名	学校法人 菊武学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>1) 「作成」</p> <p>授業計画(シラバス)について、本校学事課より授業担当者に記載すべき下記事項を説明し提出を求めている。(1月初旬)</p> <p>①「科目名、時間数、受講対象者、担当教員名」</p> <p>②「授業担当者実務経験」</p> <p>③「授業概要」</p> <p>④「到達目標」</p> <p>⑤「授業計画」(授業回数・スケジュール)</p> <p>⑥「授業の方法」(講義・演習・実験・実習)</p> <p>⑦「必要教材、テキスト等」</p> <p>⑧「参考図書・参考URL」</p> <p>⑨「成績評価方法・基準」</p> <p>2) 「提出」</p> <p>授業担当者から学事課へ提出された授業計画書を点検・確認。(3月初旬)</p> <p>3) 「公表」</p> <p>授業計画書を本校ホームページに公表。(4月初旬)</p> <p>また初回の授業実施時には、授業担当者より授業計画書(印刷物)を全受講者に配布。授業の内容・目的・評価等についての理解を促す。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.nwfb.ac.jp/syllabus/

<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>1) 「履修認定方法」 次に示す①、②の要件をいずれも満たした場合に当該授業科目の履修を認定する。</p> <p>①出席時間数が学期授業時間数又は学年授業時間数の5分の4以上であること。</p> <p>②成績評価が「C (可)」以上であること。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・各授業科目の成績評価は、A (優) 100～80点、B (良) 79～60点、C (可) 59～50点、D (不可) 49点以下の4段階で表し、A、B、Cを合格として単位を認定し、Dは不合格として単位は認定しない。</p> </div> <p>2) 「成績評価」 成績評価は、定期試験、小テスト、課題、レポート、実技試験のほか、出席状況、学習状況、授業態度等に基づいて総合的に行っている。 授業担当者には、授業計画書において成績評価基準を具体的な数値基準で明示するよう依頼。</p> <p>3) 「評定」 各学科、コースごとに評定をつけている。</p> <p>4) 「履修認定委員会による厳格かつ適正な履修認定」 履修認定委員会は、校長、各学科長、事務課長、学事課長、ホームルーム担任によって構成され、委員会開催時での認定資料に基づき適切に認定している。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価の客観性・厳格性を確保するとともに、学生の学習到達度を明確化して、適切な学修指導と教育の質保証に資することを目的とする。前項の成績評価に対して、Grade Point (以下「GP」という。)を設定し、履修登録した授業科目のGPの平均値 Grade Point Average (以下「GPA」という。)を算出する。GPAの算出方法は以下のとおりとする。 <p>①30時間を1単位として換算し、各科目の学年成績に対して1単位当たりそれぞれ Grade Pointを付与する。 (取得単位数×Grade Point+取得単位数×Grade Point+…) / 当該年度履修単位数 ※小数点第3位を四捨五入する。</p> <p>②GPは、Aを3点、Bを2点、Cを1点、Dを0点とする。</p> <p>③GPA算入は、合格した科目だけでなく、不合格となった科目も対象とする。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.nwfb.ac.jp/disclosure/ 「大学等における修学支援に関する法律第7条1項に係る情報公開」の項目にて公表</p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>1) ディプロマポリシー「卒業認定・学位授与の方針」</p> <p>本校の教育理念である「本物志向の教育」、「国際教育・教育の国際化」、「師弟同行を踏まえた教育活動」、「学校文化」に基づいて設定された教育課程を履修して所定の単位を修得した上で、次の資質・能力を身につけ総合的に活用できる者に卒業を認定するとともに、専門士の称号を与える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域社会、国際社会の動向に目を向け、より良い社会の実現に向けて主体的かつ積極的に行動し、貢献することができる。 2. フラワー・ブライダル・ビューティの各分野における専門性の基礎となる幅広い教養を深め、専門的な知識・技術・職業理解を身につけている。 3. 他者を尊重し、多様な価値観を受け止め、様々な人々と円滑にコミュニケーションを図ることができる。 4. 自らを律し、課題を発見し、他者と協働して課題解決のために行動できるとともに、向上心を持って学び続けることができる。 5. 身につけた教養や専門性をもって他者に寄与できることの幸福やその重要性を深く理解することができる豊かな人間性を有している。 <p>2) 「卒業の認定に関する方針の公表」</p> <p>授業担当教員には、新年度授業前に開催する「教職員全体会」において、学則の説明を通して「卒業の認定に関する方針」の具体的な内容を公表している。また、学生及びその保護者については、入学後のオリエンテーションの場で配布される「ハンドブック（学生便覧）」やその後のホームルーム活動の場を通して、学生一人ひとりに周知が図られるよう取り組んでいる。</p> <p>本校ホームページへも公表している。</p> <p>3) 「卒業の認定の適切な実施状況」</p> <p>卒業認定委員会は、校長、各学科長、事務課長、学事課長、ホームルーム担任によって構成され、委員会開催時での認定資料に基づき適切に認定している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>https://www.nwfb.ac.jp/disclosure/</p> <p>「大学等における修学支援に関する法律第7条1項に係る情報公開」の項目にて公表</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院
設置者名	学校法人 菊武学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.kikutake.jp/05data/index.html
収支計算書又は損益計算書	http://www.kikutake.jp/05data/index.html
財産目録	http://www.kikutake.jp/05data/index.html
事業報告書	http://www.kikutake.jp/05data/index.html
監事による監査報告（書）	http://www.kikutake.jp/05data/index.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	フラワービジネス科 フラワーデザインコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1770 単位時間	0 単位時間	300 単位時間	1470 単位時間		
			1770 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 の内数人		32 人	0 人	2 の内数人	6 人	8 人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	フラワービジネス科 ガーデンデザインコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800 単位時間	0 単位時間	240 単位時間	1560 単位時間		
			1800 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 の内数人		10 人	0 人	2 の内数人	8 人	10 人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	フラワービジネス科 フラワーウェディングコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1890 単位時間	0 単位時間	300 単位時間	1590 単位時間		
			1890 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 の内数人		40 人	0 人	2 の内数人	6 人	8 人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	ブライダルビジネス科 ウェディングプランナーコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1710 単位時間	300 単位時間	420 単位時間	990 単位時間		
			1710 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 の内数人		100 人	0 人	2 の内数人	16 人	18 人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	ブライダルビジネス科 ドレス・ヘアメイクコース ドレスコーディネーター専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800 単位時間	60 単位時間	270 単位時間	1470 単位時間		
			1800 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 の内数人		58 人	0 人	2 の内数人	13 人	15 人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	ブライダルビジネス科 ドレス・ヘアメイクコース ブライダルヘアメイク専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800 単位時間	60 単位時間	270 単位時間	1470 単位時間		
			1800 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 の内数人		58 人	0 人	2 の内数人	13 人	17 人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	トータルビューティ科 エステティック専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1710 単位時間	30 単位時間	300 単位時間	1380 単位時間		
			1710 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 の内数人		18 人 (1年専攻未分化)	0 人	1 の内数人	12 人	13 人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	トータルビューティ科 ビューティアドバイザー専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1710 単位時間	30 単位時間	330 単位時間	1350 単位時間		
			1710 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 の内数人		25 人 (1年専攻未分化) 18 人 (2年生) 7 人	0 人	1 の内数人	13 人	14 人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	トータルビューティ科 トータルビューティ専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1710 単位時間	30 単位時間	240 単位時間	1440 単位時間		
			1710 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 の内数人		31 人 (1年専攻未分化) 18 人 (2年生) 13 人	0 人	1 の内数人	15 人	16 人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	フラワーマスター科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	800 単位時間	0 単位時間	330 単位時間	2520 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			800 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		1人	0人	2の内数人	11人	13人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	ブライダルマスター科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	800 単位時間	300 単位時間	510 単位時間	1860 単位時間	単位時間	単位時間
			800 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		0人	0人	4の内数人	20人	24人	

<p>カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）</p> <p>（概要） （授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）</p> <p>1）「作成」 授業計画（シラバス）について、本校学事課より授業担当者に記載すべき下記事項を説明し提出を求めている。（1月初旬）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「科目名、時間数、受講対象者、担当教員名」 ②「授業担当者実務経験」 ③「授業概要」 ④「到達目標」 ⑤「授業計画」（授業回数・スケジュール） ⑥「授業の方法」（講義・演習・実験・実習） ⑦「必要教材、テキスト等」 ⑧「参考図書・参考 URL」 ⑨「成績評価方法・基準」 <p>2）「提出」 授業担当者から学事課へ提出された授業計画書を点検・確認。（3月初旬）</p> <p>3）「公表」 授業計画書を本校ホームページに公表。（4月初旬） また初回の授業実施時には、授業担当者より授業計画書（印刷物）を全受講者に配布。授業の内容・目的・評価等についての理解を促す。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要） （授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）</p> <p>1）履修認定方法 次に示す①、②の要件をいずれも満たした場合に当該授業科目の履修を認定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①出席時間数が学期授業時間数又は学年授業時間数の5分の4以上であること。 ②成績評価が「C（可）」以上であること。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・各授業科目の成績評価は、A（優）100～80点、B（良）79～60点、C（可）59～50点、D（不可）49点以下の4段階で表し、A、B、Cを合格として単位を認定し、Dは不合格として単位は認定しない。</p> </div> <p>2）「成績評価」 成績評価は、定期試験、小テスト、課題、レポート、実技試験のほか、出席状況、学習状況、授業態度等に基づいて総合的に行っている。 授業担当者には、授業計画書において成績評価基準を具体的な数値基準で明示するよう依頼。</p> <p>3）「評定」 各学科、コースごとに評定をつけている。</p> <p>4）「履修認定委員会による厳格かつ適正な履修認定」 履修認定委員会は、校長、各学科長、事務課長、学事課長、ホームルーム担任によって構成され、委員会開催時での認定資料に基づき適切に認定している。</p>

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>1) ディプロマポリシー「卒業認定・学位授与の方針」 本校の教育理念である「本物志向の教育」、「国際教育・教育の国際化」、「師弟同行を踏まえた教育活動」、「学校文化」に基づいて設定された教育課程を履修して所定の単位を修得した上で、次の資質・能力を身につけ総合的に活用できる者に卒業を認定するとともに、専門士の称号を与える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域社会、国際社会の動向に目を向け、より良い社会の実現に向けて主体的かつ積極的に行動し、貢献することができる。 2. フラワー・ブライダル・ビューティの各分野における専門性の基礎となる幅広い教養を深め、専門的な知識・技術・職業理解を身につけている。 3. 他者を尊重し、多様な価値観を受け止め、様々な人々と円滑にコミュニケーションを図ることができる。 4. 自らを律し、課題を発見し、他者と協働して課題解決のために行動できるとともに、向上心を持って学び続けることができる。 5. 身につけた教養や専門性をもって他者に寄与できることの幸福や重要性を深く理解することができる豊かな人間性を有している。 <p>2) 「卒業・進級認定に関する方針の公表」 授業担当教員には、新年度授業前に開催する「教職員全体会」において、学則の説明を通して「卒業・進級の認定に関する方針」の具体的な内容を公表している。また、学生及びその保護者については、入学後のオリエンテーションの場で配布される「ハンドブック（学生便覧）」やその後のホームルーム活動の場を通して、学生一人ひとりに周知が図られるよう取り組んでいる。本校ホームページへも公表している。</p> <p>3) 「卒業・進級認定の適切な実施状況」 卒業・進級認定委員会は、校長、各学科長、事務課長、学事課長、ホームルーム担任によって構成され、委員会開催時での認定資料に基づき適切に認定している。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「クラス担任」の配置 学生一人ひとりの心情あるいは行動を把握した上で、学修支援を実践することが重要であるという観点から、全学科ともクラス担任を配置している。 2. 「入学前ステップアップセミナー」の実施 本校に合格した学生を対象に学科別「入学前ステップアップセミナー」を実施している。入学する前に演習・実習の授業を通して業界の実際を学ぶと共に、円滑に専門学校の生活が送れるよう支援している。 3. 「資格対策講座」の開設 本校での学習と関連付けて、多様な検定対策講座を開設し、学生一人ひとりのスキルアップを支援している。 4. 「他校との協定」 学校法人愛知理容学園アリアーレビューティール専門学校との協定締結により、Wスクールで美容師免許取得に向けてサポートしている。 *学費減免あり

○フラワービジネス科

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
36人 （100%）	0人 （0%）	36人 （100%）	0人 （0%）
（主な就職、業界等） ブライダルフラワー、生花店、造園業			
（就職指導内容） 履歴書添削指導、面接指導、ガイダンス・説明会等案内、オリジナルのキャリアカリキュラムにて就職指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） フラワー装飾技能士、園芸装飾技能士、造園技能士、パーソナルカラー検定など			
（備考）（任意記載事項）			

○ブライダルビジネス科

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
99人 （100%）	0人 （0%）	99人 （100%）	0人 （0%）
（主な就職、業界等） ブライダル、販売、美容業界			
（就職指導内容） 履歴書添削指導、面接指導、ガイダンス・説明会等案内、オリジナルのキャリアカリキュラムにて就職指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） ブライダルコーディネーター技能検定3級、着物着付け検定、サービス接客検定など			
（備考）（任意記載事項）			

○トータルビューティ科

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17人 （ 100%）	0人 （ 0%）	17人 （ 100%）	0人 （ 0%）
（主な就職、業界等） 美容業界、エステサロン、ヘアメイク			
（就職指導内容） 履歴書添削指導、面接指導、ガイダンス・説明会等案内、オリジナルのキャリアカリキュラムにて就職指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） AJESTHE 認定フェイシャルエステティシャン、AMJ エアブラシメイクアップアーティストディプロマ、着物着付け検定など			
（備考）（任意記載事項）			

○フラワーマスター科

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 （ 0%）	0人 （ 0%）	0人 （ 0%）	0人 （ 0%）
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

○ブライダルマスター科

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
1人 （100%）	0人 （0%）	1人 （100%）	0人 （0%）
（主な就職、業界等） ブライダル業界			
（就職指導内容） 履歴書添削指導、面接指導、ガイダンス・説明会等案内、オリジナルのキャリアカリキュラムにて就職指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） ブライダルコーディネーター技能検定3級、着物着付け検定、サービス接客検定など			
（備考）（任意記載事項）			

○フラワービジネス科

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
84人	5人	5.9%
（中途退学の主な理由） 経済的理由、進路変更、学校生活・学業不適合		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任による面談等		

○ブライダルビジネス科

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
173人	9人	5.2%
（中途退学の主な理由） 経済的理由、進路変更、学校生活・学業不適合		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任による面談等		

○トータルビューティ科

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
45 人	7 人	15.5%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、進路変更、学校生活・学業不適合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による面談等		

○フラワーマスター科

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

○ブライダルマスター科

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
フラワー ビジネス科	150,000 円	800,000 円	120,000 円	その他欄は教育充実費
ブライダル ビジネス科				
トータルビ ューティ科				
フラワー マスター科				
ブライダル マスター科				
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nwfb.ac.jp/disclosure/ 「大学等における修学支援に関する法律第7条1項に係る情報公開」の項目にて公表 ※2020年度実施予定
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)
<p>1. 評価項目</p> <p>1) 教育理念・目的・人材育成像</p> <p>①学校の理念・目的・育成人材像は定められているか</p> <p>②学校における職業教育の特色は何か</p> <p>③社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか</p> <p>④学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・関係業界・保護者等に周知がなされているか</p> <p>⑤学科の教育目標・人材育成像は、業界のニーズに向けて対応しているか</p> <p>2) 学校運営</p> <p>①目的等に沿った運営方針が策定されているか</p> <p>②運営方針に沿った事業計画が策定されているか</p> <p>③運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか</p> <p>④人事、給与に関する規程等は整備されているか</p> <p>⑤業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか</p> <p>⑥教育活動等に関する情報公開が適切になされているか</p> <p>⑦情報システム化等による業務の効率化が図られているか</p> <p>3) 教育活動</p> <p>①教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</p> <p>②各学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか</p> <p>③授業評価の実施体制はあるか</p> <p>④関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか</p> <p>⑤成績評価・履修認定、進級・卒業認定の基準は明確になっているか</p>

- ⑥資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
- ⑦人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
- ⑧職員の能力開発のための研修等が行われているか
- 4) 学修成果
 - ①就職率の向上が図られているか
 - ②資格取得率の向上が図られているか
 - ③退学率の低減が図られているか
 - ④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
- 5) 学生支援
 - ①進路に関する支援体制は整備されているか
 - ②学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか
 - ③学生への経済的な支援体制は整備されているか
 - ④課外活動に対する支援体制は整備されているか
 - ⑤保護者と適切に連携しているか
- 6) 教育環境
 - ①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
 - ②学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか
 - ③防災に対する体制は整備されているか
- 7) 生徒の受入れ募集
 - ①高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか
 - ②学生募集活動は、適正に行われているか
 - ③生徒募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
 - ④学納金は妥当なものとなっているか
- 8) 財 務
 - ①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
 - ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
 - ③財務について会計監査が適正に行われているか
 - ④財務情報公開の体制整備はできているか
- 9) 法令等の遵守
 - ①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
 - ②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
 - ③自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
 - ④自己評価結果を公開しているか
- 10) 社会貢献・地域貢献
 - ①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
 - ②学生のボランティア活動を奨励しているか
 - ③地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか

学校関係者評価の委員		
学校関係者評価を確実に実施し、2020年度からその結果を公表するために委員の選任を行う。		
所属	任期	種別
	2年	本校の専門分野における企業関係者
	2年	学識経験者
	2年	卒業生
	2年	保護者
学校関係者評価結果の公表方法 2020年度から評価を確実に公表する		
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nwfb.ac.jp/disclosure/ 「大学等における修学支援に関する法律第7条1項に係る情報公開」の項目にて公表 ※2020年度実施予定		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nwfb.ac.jp/
--